

じぶん
自分にできること ーダリウス君の挑戦ー
くん ちょうせん



(Drawn by Hinako FUJIMURA)

アメリカのニュージャージー州^{しゅう}にダリウス・ブラウン (Darius Brown) という男^{おとこ}の子^こがいます。彼は^{かれ}あることをして、オバマさんから手紙^{てがみ}をもらいました。オバマさんは、アメリカの^{まえ}前の^{だいてうりょう}大統領^{だいりょう}です。ダリウス君^{くん}は、どんなことをしたのでしょうか。

ダリウス君^{くん}は、2歳^{さい}のときにお医者^{いしや}さんに、「君^{きみ}は、話^{はな}す力^{ちから}、理解^{りかい}する力^{ちから}、運動^{うんどう}する力^{ちから}がほかの子^こどもより少し^{すこ}低い^{ひく}」と言^いわれました。しかし、ダリウス君^{くん}はいつも誰^{だれ}かの役^{やく}に立ちたい^たと思^{おも}っていました。8歳^{さい}のとき、ダリウス君^{くん}は、お姉^{ねえ}さんにミシンの使^{つか}い方^{かた}を教^{おし}えてもらいました。そして、すぐ上^{じょう}手^ずになって、蝶^{ちょう}ネクタイ^{つく}が作^{つく}れるようになりました。

ダリウス君^{くん}が10歳^{さい}のとき、アメリカに大きなハリケーン^{おおき}が来^きました。ダリウス君^{くん}は、そのニュース^みを見て、とてもショック^うを受け^うけました。人^{ひと}は、だれかに助^{たす}けてもらえます。でも、動物^{どうぶつ}を助^{たす}ける人^{ひと}がいるかどうかは、わかりません。このとき、ダリウス君^{くん}は、「僕^{ぼく}が動物^{どうぶつ}を助^{たす}けてあげよう^き」と決^きめました。

その後^ご、ダリウス君^{くん}は動物^{どうぶつ}を助^{たす}ける家^{いえ}があることを知^しりました。この家^{いえ}には、人^{ひと}に捨^すてられた犬^{いぬ}や猫^{ねこ}が住^すんでいます。そして、新^{あた}しい家^か族^{ぞく}が来^くるのを待^まっています。しかし、その家^{いえ}の動物^{どうぶつ}がいっぱいになると、殺^{ころ}されてしまいます。そこで、ダリウス君^{くん}は、この動物^{どうぶつ}の家^か族^{ぞく}が早^{はや}く見^みつかるように、動物^{どうぶつ}に蝶^{ちょう}ネクタイ^{つく}をプレゼント^{いぬ}しました。犬^{いぬ}や猫^{ねこ}は蝶^{ちょう}ネクタイ^{つく}をして、とてもかわいいです。

ダリウス君^{くん}は今^{いま}も動物^{どうぶつ}を育^{そだ}てる家^{いえ}に行^いって、蝶^{ちょう}ネクタイ^{つく}を届^{とど}けています。

動物の家族を探すために、イベントにも参加しています。SNSを使って、動物を育てる家について紹介もしています。このことでダリウス君は、2018年にオバマさんから手紙をもらったのです。

すぐに社会が変わることはないでしょう。けれど、12歳のダリウス君は絶対にあきらめません。ずっと動物を助けていきます。

(753字)

(2020.9 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

<参考資料>

- ・「笑うメディアクレイジー」ウェブサイト「12才の少年は、保護施設の犬猫のために『蝶ネクタイ』を手作りする」

<https://curazy.com/archives/251521>

- ・「gofundme」ウェブサイト「Sir Darius's PAW-SOME Mission」

<https://www.gofundme.com/f/sirdarius>

- ・「SIR DARIUS BROWN」ウェブサイト

<https://www.sirdariusbrown.com/press>

(2020.9.25 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典:「たどくのひろば」(<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.

When you use this work, please indicate the source as in the example above.